料理茶話即席説

曲亭馬琴

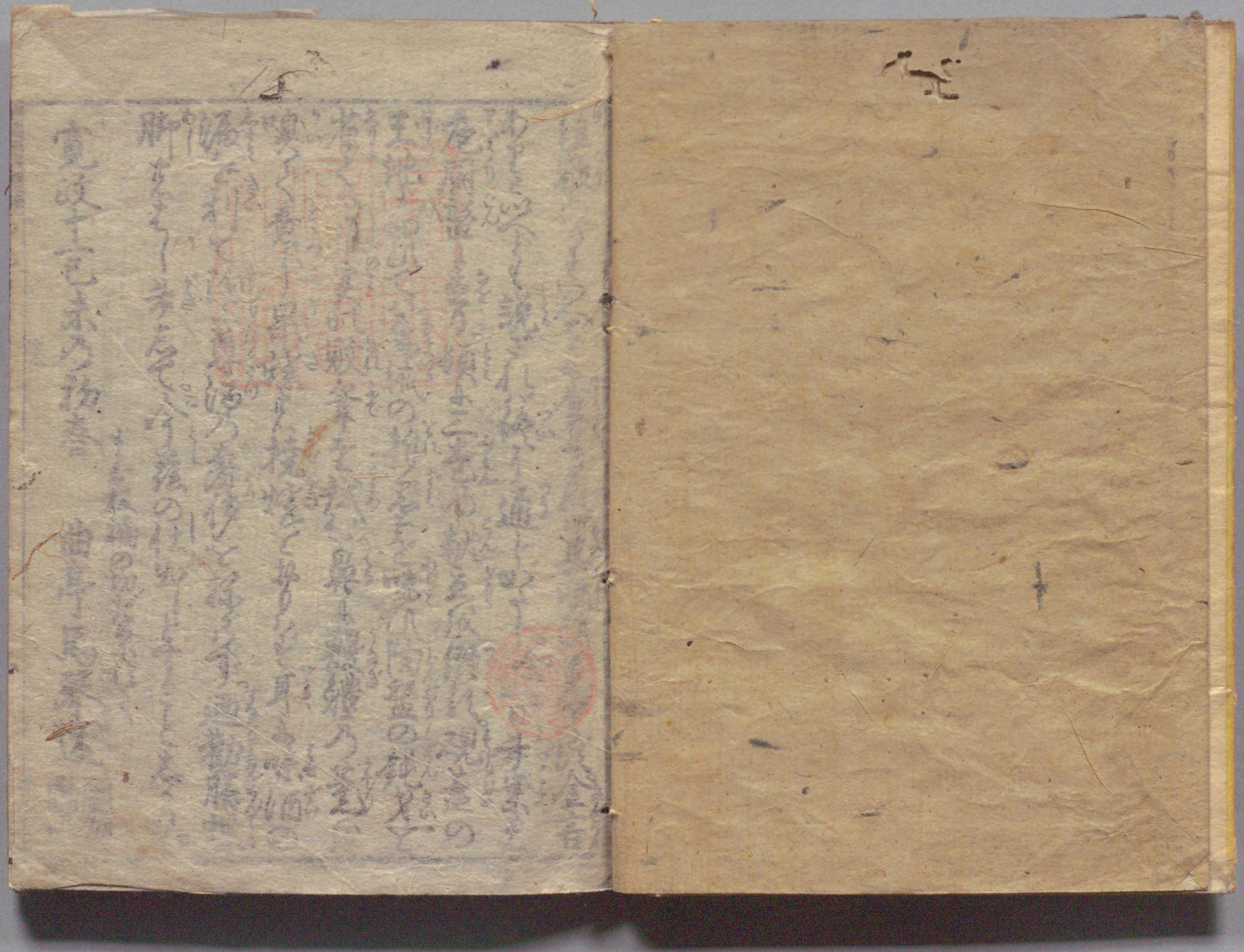
207
718

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用



国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

佳穀ありといへども食をざれば其味ひとしるべし金言
あまと以へども説ざれば終り通じがたし余一日未案ゆ
庖厨盤に出り頓に三巻乃献立紙綴れ硯蓋の
玉池に向ひては鳥紙の折畳を味ひ陶盤の鈍才と
省くは推実に敗筆を試む鼻に鰻鱧乃薬紙
嗅べく竟ぐり果蝶にも撓蛙とかりけど耳に味酒の
涙を利て陶に尊酒乃奢侈と称ずはず廼勸賠蝶
脚にもしし未だて今茲の仕出しとすることしたり。

寛政十一己未乃初春　曲亭馬琴述

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

日本紀
続日本紀

萬葉集
類聚国史

源語湖月抄

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

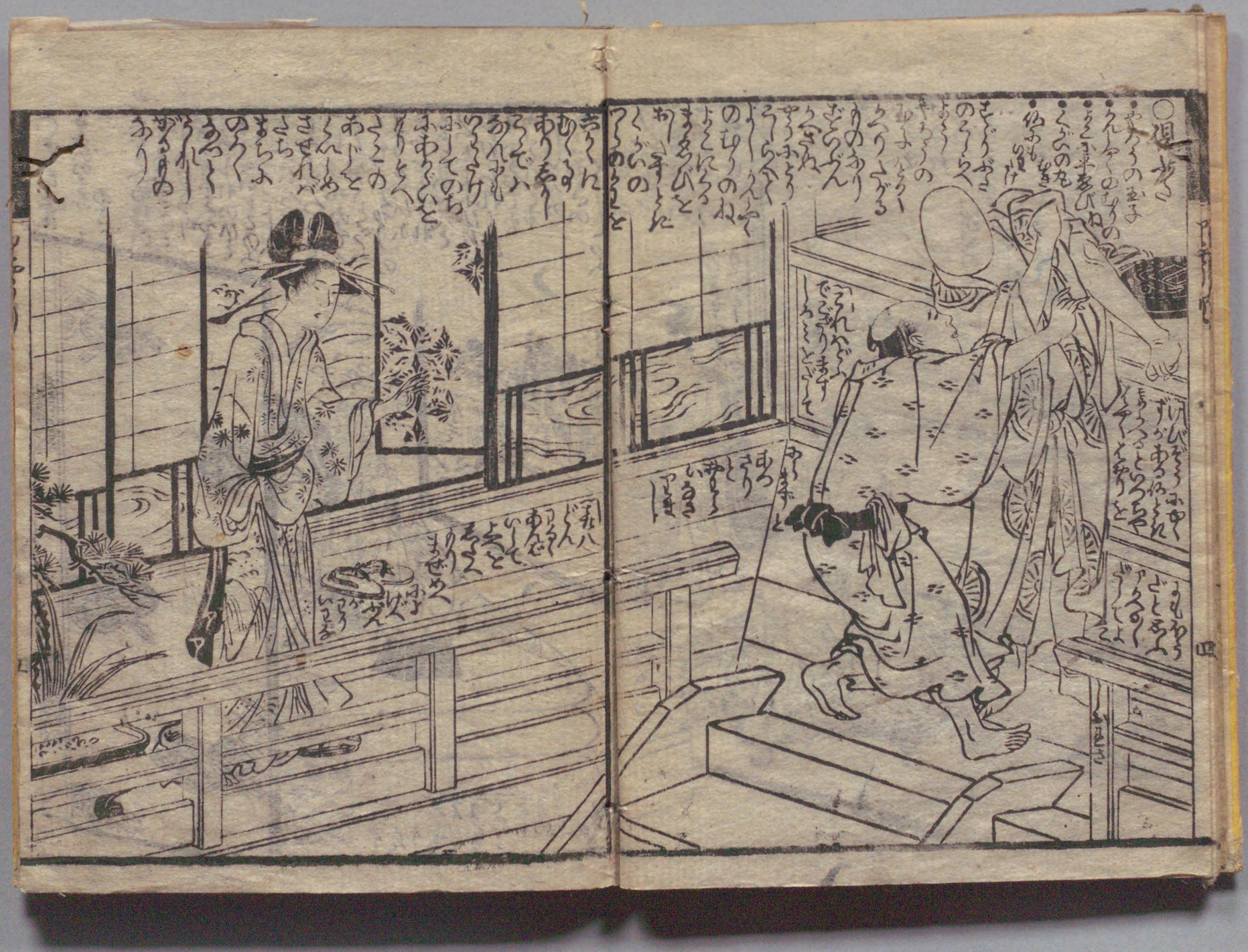
ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用



国立国会図書館　　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

即席御料理

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

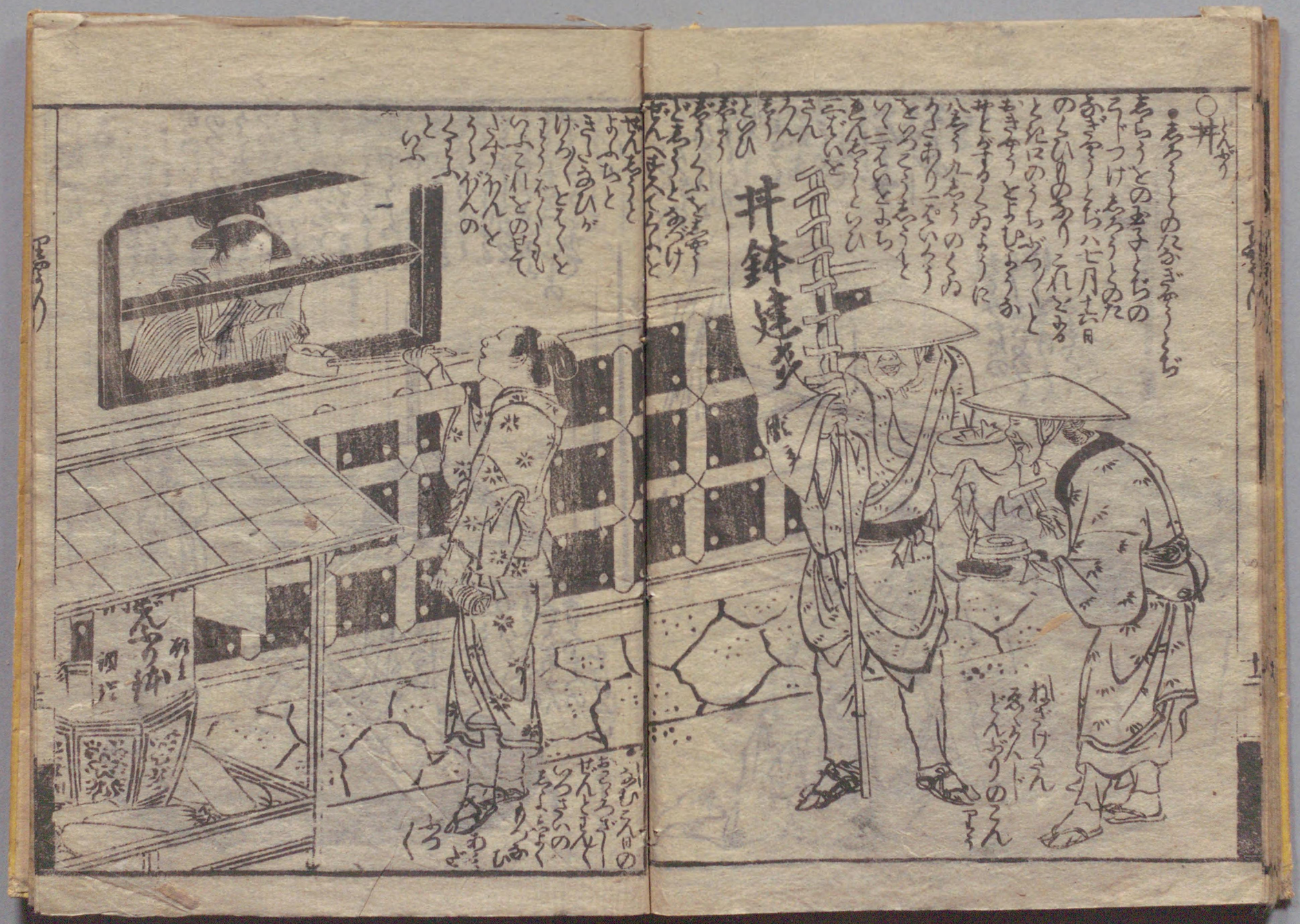
ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用



国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

虎屋

江戸本町三丁目

鳥飼和泉掾

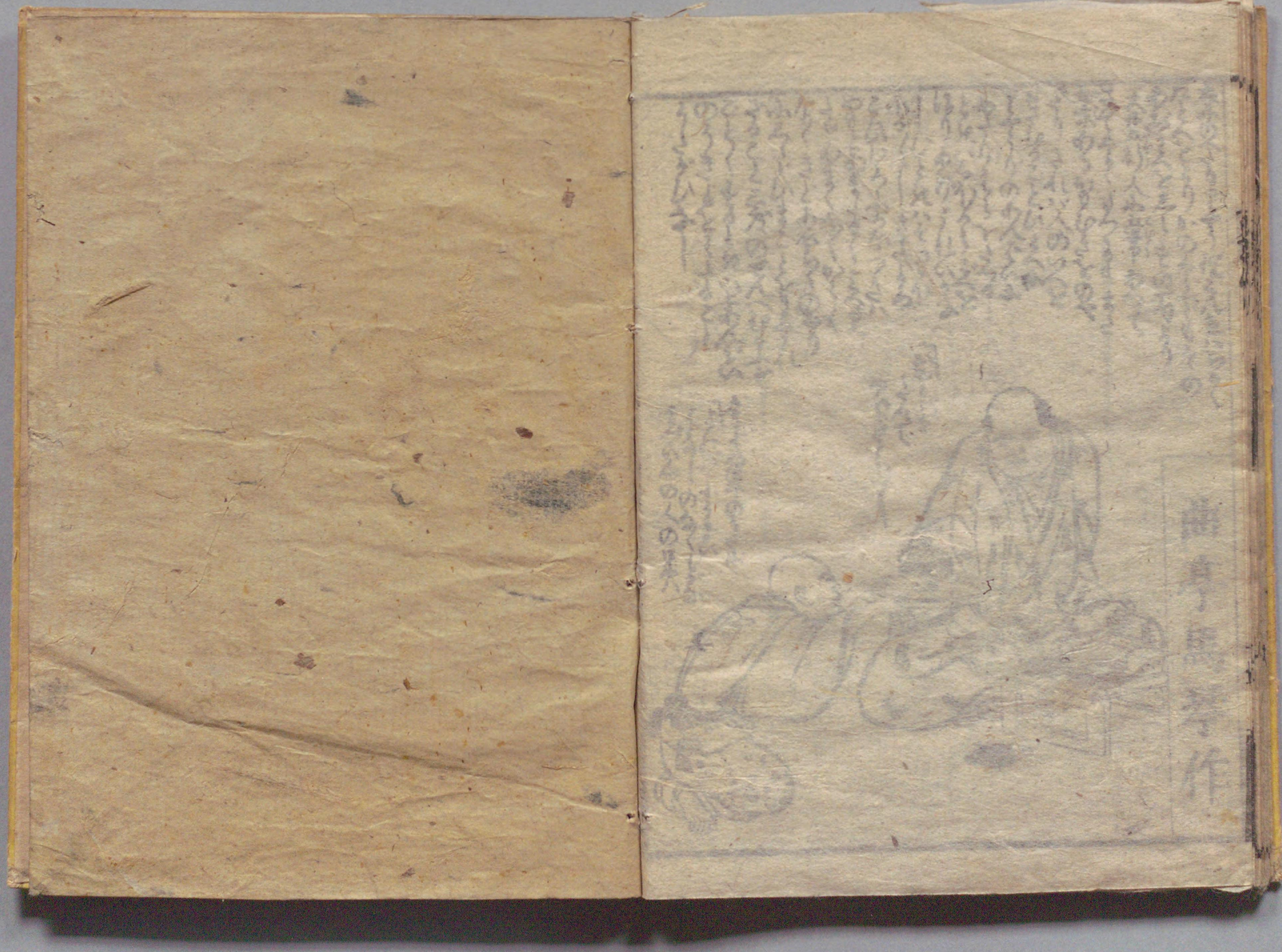
国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

曲亭馬琴作

国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用



国立国会図書館　料理茶話即席説：3巻 207-718

ガラス使用

207
718

国立国会図書館　料理茶話即席説 : 3巻 207-718

ガラス使用

国立国会図書館　　料理茶話即席説 : 3巻 207-718

ガラス使用